宮崎県

㊻　県立青島亜熱帯植物園管理棟（宮崎市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	㎡当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
事務所	216 ㎡	W 造	1	0.31 ㎥/㎡	5,483 万円	H27.3

	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
木材使用量（㎥）	木工事	54.60	7.20			61.80
	内装工事	6.80				6.80
	外装工事					
	その他					
	計	61.40	7.20			68.60
	うち県産材					
主な樹種		杉、桧	杉			－

設計者：みつくぼ建築設計事務所
施工者：株式会社戸高建設

【建物概要（目的等)】
・青島亜熱帯植物園の管理棟として、事務室の他に青島インフォメーションやチケット売り場などの外来者対応の設備を備えた施設。

【構造概要（木造・木質化に関した特徴等)】
・構造体である梁架構を建物内外で見せるとともに、外来者が訪れる青島インフォメーション等では、床材や腰壁材、建具枠にも木材を使用している。
・外観についても、軒裏にスギ板を使うなど、ふんだんに木材を使用している。

㊼　みなみのかぜ支援学校教室棟（宮崎市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	㎡当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
学校	790.72 ㎡	W 造	1	0.14 ㎥/㎡	26,553 万円	R4.3

	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
木材使用量（㎥）	木工事	96.90				96.90
	内装工事	20.30				20.30
	外装工事					
	その他					
	計	117.2				117.2
	うち県産材					
主な樹種		杉、桧、米松				―

設計者：有限会社野添設計

施工者：坂口建設株式会社　　株式会社下森建装　　株式会社みやえい　　株式会社明光社

【建物概要（目的等)】

・みなみのかぜ支援学校高等部の教室棟（増築）

【構造概要（木造・木質化に関した特徴等)】

・宮崎県産木材（スギ、ヒノキ）を活用した木造とし、県内業者が容易に施工できるよう、主に製材の一般流通材を使用した軸組架構を採用している。

・内装については、造作家具やサッシ廻りの額縁等で木材を使用しており、教室内部からも木を感じられるようにしている。

㊽　県庁１号館　議会棟（宮崎市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	㎡当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
庁舎	18,236 ㎡	SRC 造	地上９階 地下１階	㎥/㎡	2,013 万円	R6.1

	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
木材使用量（㎥）	木工事					
	内装工事					
	外装工事					
	その他					
	計					5.0
	うち県産材					5.0
主な樹種						杉、ｸｽ、桧

設計者：青木建築事務所　　岡崎設計
施工者：有限会社ミツギ建設

【建物概要（目的等)】
・宮崎県議会の正副議長の執務室として、議会運営に関する打合せや来客対応など、正副議長として多岐に渡る職務が行われる。

【構造概要（木造・木質化に関した特徴等)】
・来客等の入室時、最初に目にする本館前庭側の窓は、既存のカーテンを撤去し、県産スギを使用した障子を設置し、既存配管部分に、目隠しとして県産スギを使用した下がり縦格子を設置した。
・梁や腰壁、書棚等にも県産スギやクス、ヒノキを使用。

上段：改修前
下段：改修後

㊾ KUROKIRI STADIUM（宮崎県山之口陸上競技場）（都城市）

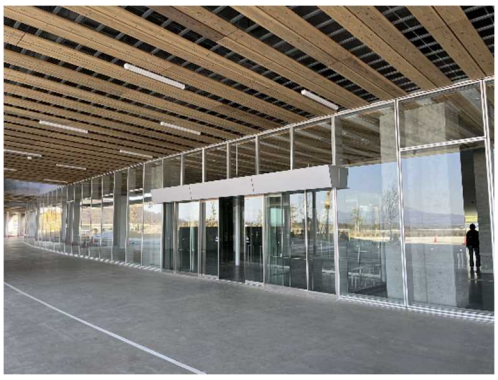
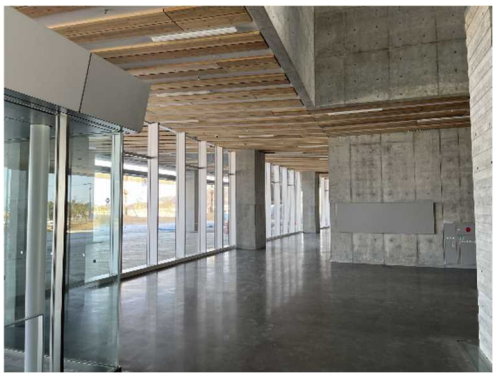
用途	規模(延べ面積)	構造	階数	㎡当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
陸上競技場	22,809 ㎡	RC 造一部 S 造	4			R6.12

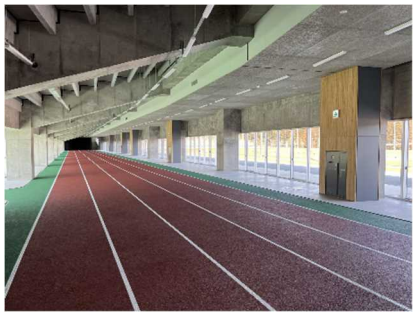
	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
木材使用量（㎥）	木工事					
	内装工事					
	外装工事					
	その他					
	計					51.87
	うち県産材					
主な樹種					杉	―

設計者：佐藤・益田建築設計・工事監理業務共同企業体
施工者：清水・都北・下森特定建設工事共同企業体　　増田・上田・戸髙特定建設工事共同企業体
　　三桜電工・小田電業・電工社特定建設工事共同企業体　　株式会社エイワ　　久保設備株式会社

【建物概要（目的等）】
・令和９年に本県で開催される、国スポ・障スポ大会の開閉会式及び陸上競技会場として使用される施設である。陸上競技以外にもサッカー、ラグビー、アメリカンフットボールにも対応可能となっている。

【構造概要（木造・木質化に関した特徴等）】
・メインスタンドピロティの軒天から建物内部の天井にかけて杉板をルーバー状に設置し、外部と内部の仕上げに連続性を持たせている。
・貴賓室においては、天井の仕上げを杉板ルーバーとし、出入口も杉板を張った扉を採用している。
・トレーニングルームの壁を杉板張りとした他、屋内走路の柱に LVL で覆うなど、温かみが感じられるようにしている。



⑤⓪　県営古城ヶ鼻団地１号棟（日向市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	㎡当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
県営住宅	277.97 ㎡	W 造	1	0.20 ㎥/㎡	1 億 834 万円	R2.3

	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
木材使用量（㎥）	木工事	57.10				57.10
	内装工事					
	外装工事					
	その他					
	計	57.10				57.10
	うち県産材					
主な樹種		杉				―

設計者：株式会社岩切設計

施工者：一政建設有限会社　　有限会社黒木電気消防　　株式会社ビスイ

【建物概要（目的等)】

・県営住宅　５戸（３DK2 戸・２DK3 戸)。

【構造概要（木造・木質化に関した特徴等)】

・玄関及びホールの腰壁において、木材（スギ板ｔ=12）を使用。

㊿ 九州自然歩道御橋トイレ（高千穂町）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	㎡当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
公衆便所	59.00 ㎡	W 造	1	0.24 ㎥/㎡	7,112 万円	R4.5

木材使用量（㎥）	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
	木工事	14.60				14.60
	内装工事					
	外装工事					
	その他					
	計	14.60				14.60
	うち県産材	14.60				14.60
主な樹種		杉、桧				―

設計者：アーク計画設計事務所

施工者：株式会社山田組　　株式会社西臼杵衛生公社

【建物概要（目的等)】

・観光客用のトイレ施設

【構造概要（木造・木質化に関した特徴等)】

・小屋組を建物内部で見せるとともに、壁にも杉板材の木材を使用している。

・内部の利用時や清掃時の水の使用、外部の雨水の跳ね返り等を考慮し、基礎を立ち上げることで、木部を濡らさないための措置を執っている。